

# むらやま・木育プログラム 作り方マニュアル

## 4 お守り(おまもり)



対象： 幼児～

危険度	1	鋸を使う作業は大人の注意が必要 幼児のみの場合は紙やすりのみ使用	30分
難易度	1	幼児が大人と一緒に取り組む場合は、玄能や手動ドリルは大人が担当する	

◆ 材 料

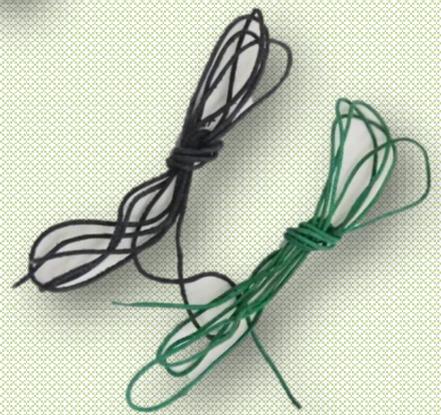
丸太、木片、ひも



丸太



木片



ひも

◆ 道具

木工用ノコギリ（横引き、粗目）、丸太切り台、<sup>げんのう</sup>玄能、  
ドリル（ドリル刃…5.0mm）、ドリル受木、紙やすり（＃120、240）、ハサミ



ノコギリ



<sup>げんのう</sup>  
玄能



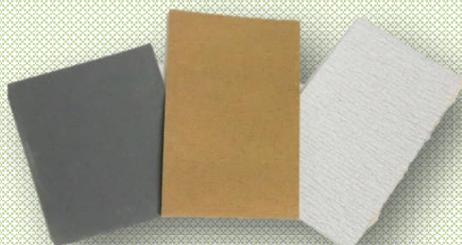
丸太切り台



手動ドリル



ドリル受木



紙やすり



ハサミ

◆ 作り方

① 丸太をカットします。



直径10cm以上の丸太を  
子どもがひとりで切るのは  
大変です。  
交代しながら切るか、大人と  
一緒に切ってみましょう。

厚さはお好みですが、  
2cmくらいが、割りやすい  
でしょう。

② 輪切りを、<sup>げんのう</sup>玄能で割る。



子どもの力で割れない場合  
は大人が割りましょう。  
子どもたちは、  
興味津々で見えています。

③ 紙やすりで欠片の表面を磨く。



木目に沿って、  
心を込めて。

★幼児だけの作業の場合は、ここから始めます。  
用意された木片の中から好きな形を選びます。

「友だちが沢山できますように」、「〇〇が上手になれますように…」  
など、願いを込めて紙やすりで丁寧に磨いていきます。

④ ドリルで欠片に穴を開ける。



簡単に穴が開きます。  
ドリルの受け台は高さのある  
ものを用意しましょう。  
机まで貫通しないように  
注意しましょう。

⑤ ひもを通して、完成！！



🍪🍪🍪

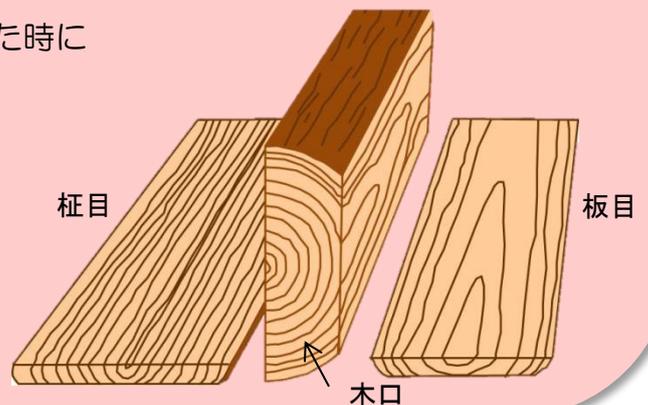
「木のお菓子」バウムクーヘンで学ぼう！

バウムクーヘンとは、ドイツ語で[木のお菓子]という意味です。その名の通り、まるで木の丸太のような形をしています。生地を焼き上げながら年輪を重ねていく様子も、木が成長する様子とそっくりです。



カットの仕方、木目の種類（<sup>まさめ</sup> 柾目、<sup>いため</sup> 板目、<sup>こぐち</sup> 木口）を覚えてみましょう。

- ① 木の中心から放射方向にナイフを入れた時に  
出るのが、柾目(まさめ)
- ② 木の中心を通らずにナイフを入れると  
板目(いため)
- ③ バウムクーヘンをそのまま真上から  
みるのが、木口(こぐち)



## やまがた緑環境憲章

— 県民みんなで支える新たな森づくり —

私たちは、

- 1 暮らしや環境を守るため、豊かな森づくりを進めます。
- 2 森や木の文化を見つめ直し、暮らしの中に木を活かします。
- 3 一人一人の力を活かし、森づくりの和を広げます。
- 4 森や自然の大切さを学び、やまがた森林と緑の推進機構の絆<sup>きずな</sup>を深めます。
- 5 みんなで森づくりを支え、かけがえのない森を未来に贈ります。



【編集・発行】 令和6年2月

山形県村山総合支庁産業経済部 森林整備課森づくり推進室  
〒990-2492

山形県山形市鉄砲町二丁目19番68号

【問合せ先】

森づくり担当：TEL 023-621-8156・8248



「やまがた緑環境税」を活用しています